



教会報

2025年10月号

キリストのうちにわたしたちの復活の希望は輝く

(2025年度吉祥寺教会年間テーマ)



ヨハネ・ボスコ後藤文雄神父様 帰天

長きにわたり吉祥寺教会で司牧をされていらっ
しゃいました後藤神父様が、9月17日、帰天さ
れました。昨年生前最後に吉祥寺教会にいらし
た際に信徒の皆様へあてられたお手紙を改めて
掲載させていただきます。

1
吉祥寺教会信徒の皆様、
私が四年前に、罹病した時、コロナの流行
が始まった時でした。
感涙の危険もあるということで、
数日間隔離されました。
細菌性肺炎ということで皆さまに
ご迷惑をおかけしたことは、
不幸中のさびしいでした。
病状は一進一退をくり返しながら
老齢もすすみ今日にいたりました。
引退しているにも拘らず今日まで暖かく
みまもり下さいました。
吉祥寺教会信徒のみなさまへは、わ
れ主司祭として神にささぐり、神さまの御さきに

2
心から感謝申し上げます。
私の前を敬する良寛和尚に真心に
けな一句
「いまだに境はなれて住む身はも 老らね
別れのあやを悲しき」
3に良寛和尚は

4
「いつらとみせ おもてをみせて散るもみじ」
と他の人の句を お借りしと借用して
かえしたという
あやかり 「いつらとみせ みせつばなし
で散るもみじ」 そうたわせてもらい
皆さまのお別れにしたいと思ひます。
さようなら
二〇二四年十二月十五日
後藤 文雄
吉祥寺教会信徒の皆さま

5
教会報にのけて下さる
原稿を中
後藤 文雄
15 2024



「希望はわたしたちを欺くことはありません」

(ローマ 5:5) その4

主任司祭 B. Nowak SVD



キリスト者の希望は、人間の教えや約束に基づくのではなく、神ご自身の約束に基づいています。多くの限界があり、しばしば約束を守らない人間とは違って、神は全能であり、真実であり、忠実です。そして何よりも、人間にとって最も重要なことは、神が被造物を愛する創造主であるということです。

もちろん、神の存在そのものとその特質は信仰の対象ですが、その信仰は確かな基盤の上に成り立っています。神は、イスラエルの民の歴史における具体的な働きを通して、直接人々にご自身を啓示されました。その神の自己啓示は、すべての人が知ることができるように、旧約聖書と新約聖書に記録されています。

1. 旧約の時代に明らかにされた神の働き

1.1 神は人を定められた目的へ導く方

神がアブラハムを召し出されたのは、彼とその子孫を通して全世界にご自身を現し、人類と万物の創造主である神がすべての被造物のために定めた目的へと、すべての人を導くためでした。アブラハムの生涯において、神は旅の目的を定め、約束を通して人類がその目的を達成するよう促す方であることを明らかにされました。このような神の働きは、アブラハムの生涯だけでなく、モーセやダビデ王、そして預言者たちの生涯にも見られます。特に、イスラエルの歴史における40年間の荒れ野での放浪において、それは最も顕著に示されました。神は旅の目的を定め、約束を与えるだけでなく、民に寄り添い、危険から守り、苦難のときには力づけてくださいました。神の約束は現在を超えて未来を示し、その成就への希望と新しい未来への参加の願いを人々に抱かせます。この希望と願いこそが住み慣れた土地を後にして、出発し、旅を続け、途中の障害を乗り越える力となるのです。

1.2 神は契約を通して人間と結ばれる方

神の約束は、しばしばアブラハムなど特定の個人やイスラエルの民全体と結ばれた契約と結びついていました。契約を通して、神は人間と結ばれ、約束の成就を保証すると同時に、人間に掟を与え、それを守ることを人間に約束させました。ただし、掟を守ることは神の約束が実現するための条件ではなく、むしろ神の約束された未来にあずかるための教育と準備の一部でした。人間が不忠実であったときでさえ、神は人間に対して忠実であり続けました。そのことは、メシアが遣わされたことによって完全に示されました。神はメシアを通してすべての約束を成就し、さらに神が人類に望んでいたもの——すなわち完全な愛——をメシアから受け取ることができたのです。イスラエルの歴史は、神が常に約束を果たされることを証ししています。しかし、その実現はしばしば人間の予想を超える形で現れます。したがって、約束された未来にあずかるためには、私たちは神の言葉を信頼し、自らの弱さと不忠実さを自覚しつつも、揺るぎない希望を持ち続け、その成就に備えなければなりません。

2. 神の国の約束

2.1 イエス・キリストの生涯と教えにおける神の国

旧約聖書の時代に神がなされたすべての約束は、イエス・キリストにおいて成就しました。さらに、イエスご自身が父なる神と同じような働きをされたので、私たちはイエスが神が私たちに約束されたメシアであることを確信できます。イエスは宣教を始めるにあたり、ご自身の到来によって神の国が近づいたことを告げました。そして教えの中で神の国とは何かを語り、生涯を通して神の国に生きることの素晴らしさを示されました。このようにしてイエスは、人々の中に神の国にあずかりたいという願いを呼び起こし、神の招きに応えるよう導かれたのです。神の国は、人間の理解や想像を超えた偉大な神秘です。聖パウロはこう記しています。『目が見もせず、耳が聞きもせず、人の心に思い浮かびもしなかったことを、神はご自分を愛する者たちに準備された』（一コリント2章9節）イエスが約束された未来は、この世の自然な可能性や私たちの期待を超越しています。しかし同時に、それは私たちが言葉で言い表せない心の奥底の切なる願いと深く響き合っています。そのため、イエスの教えは私たちが真に望んでいるものを私たちに気づかせ、イエスの約束は私たちの願いが必ず満たされるという希望を呼び覚ますのです。神の国に生きるとは、三位一体の神の命と神聖な三者の愛の交わりにあずかることを意味します。それは、愛によって神と、また互いに結ばれた人々の共同生活です。この愛は永遠に続くだけでなく、果てしなく成長していきます。神の国は人間の至高の幸福の状態であり、私たちが創造された目的です。永遠の命とも呼ばれるこの状態こそ、私たちの心を完全に満たす唯一のものなのです。永遠の命にあずかることは、神の御子の受肉、人々の間での生涯、受難と十字架上の死、そして復活を通して可能となりました。これらの出来事を通してイエスは父である神に完全な愛を奉獻して、私たちの罪を贖い、神と和解させ、永遠の命を妨げていた死を打ち破られたのです。聖霊降臨以降、すべての人はこの世に生きている間に、ある程度永遠の命にあずかることができます。神の御心に従って生きることによって、神の国を体験するのです。これは神の国に入るための条件ではなく、すでに神の国にあずかっていることのしるしなのです。

2.2 キリスト教的希望の確実性

イエスの約束の成就に対する希望は、空想的なユートピアを夢見るのではなく、人間に対して常に忠実で全能の神の約束に基づく確かな確信です。神の国の実現は、人間の世界の自然な発展の結果ではなく、神が歴史に介入された成果です。それは創造物の完全な刷新と変革であり、私たちには想像を超える現実です。万物を無から創造された神は、悪から善を生み出し、死のあるところに命を与える力をもつことを繰り返し示してこられました。そしてイエス・キリストの復活において、そのことを最も完全に明らかにされたのです。神は忠実で全能であるゆえに、人類がたとえ逆の方向に向かっていたとしても、神がご自分の約束をいつの日か必ず果たされることは絶対に確実です。

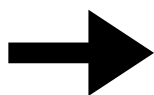
2.3 キリスト教の希望が現代に与える影響

神の約束を信じる者は、神の国の新しい現実にあずかりたいという願望と希望に満たされています。この願いは、イエスが示された方向に従って、私たち自身と世界を変革するようにこの人を駆り立てます。神の国の完全な実現への希望は、どのような困難な状況にあっても、神の愛とキリストへの忠実のうちに生きる力を与えます。またそれは、状況の変化に左右されない喜びと平安の源でもあります。聖パウロは次のように記しています。「貧しく暮らすすべも、豊かに暮らすすべも知っています。満腹していても、空腹であっても、物が有り余っていても不足していても、いついかなる場合にも対処する秘訣を授かっています。わたしを強めてくださる方のおかげで、わたしにはすべてが可能です」（フィリピ4章12-13節）

ゴッちゃん、ありがとう！



動画は
こちら

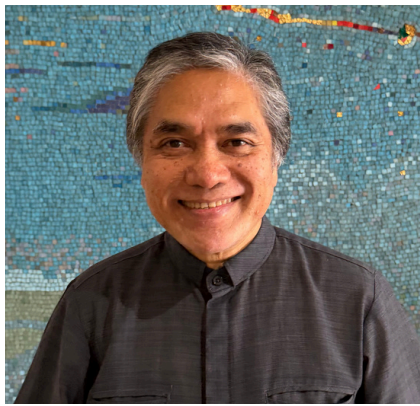


通夜の祈り
当日の様子



葬儀ミサ
告別式
当日の様子

フリッツ神父様のご紹介 (ラウリシオ・フレデリック・ザ ファースト・ロア神父)



こんにちは。私は フレデリック I ロア・ラウリシオ と申します。愛称はフリッツです。名前の通り、背はあまり高くありません。私はフィリピンのダバオで4人兄弟の3番目に生まれました。兄は結婚して4人の子どもがいて、母と同じイロイロに住んでいます。姉は看護師として海外で働いています。そして、私には双子の弟がいます。私たちは12月14日に生まれ、同じ「フレデリック」という名前を持っています。弟は フレデリック II ロア・ラウリシオといい、私と

同じ神言会の司祭です。私たちは2000年4月30日に、故郷イロイロ州サンディオニシオと一緒に司祭に叙階されました。弟はその後、アフリカ南部のボツワナやザンビアに派遣されましたが、2016年に母の世話のためフィリピンに戻りました。

(母は2025年5月13日に帰天致しました)

私自身は、2000年8月に来日する前、ミンドロ州オクシデンタルで4年間働き、来日後は名古屋の南山大学で1年間日本語を学んだ後、平針教会で助任司祭として働きました。その後、移住者の司牧を任され、チリ人の同僚と共に「三河カトリックセンター」を立ち上げました。私は主にフィリピン人を、同僚はスペイン語やポルトガル語を話す南米出身の人々を担当しました。しばらくして名古屋教区の協力を頼まれ、大聖堂にも派遣されました。その後再び三河カトリックセンターに戻り、しばらく働きました。

2019年5月1日、愛知県外での最初の任地となる秋田に赴任しました。その後、2024年4月には山形県の米沢教会に1年間派遣され、2025年5月に米沢を離れ、休暇のため帰国した後、8月に再び日本に戻り、この度吉祥寺教会 に赴任いたしました。

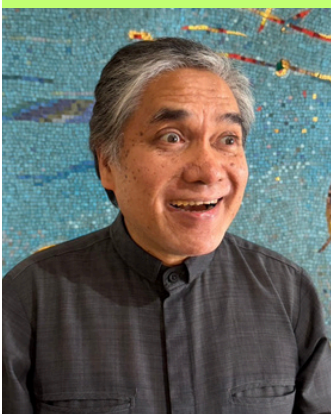
趣味はコンピュータや映画鑑賞、そして旅行です。甘いもの、特にチョコレートやアイスクリームが大好きですが、コレステロール値が高いので食べ過ぎないように気をつけています。私の霊名の祝日は 7月19日、聖フレデリックの祝日 です。

ここ吉祥寺教会で、皆さんと心を通わせ、互いに信仰を深め、生き生きとした共同体を築いていけるようにと願い、祈っています。私の日本語はまだ十分ではありませんが、どうかご理解とご協力をお願いいたします。

【フリッツ神父様の講座のご案内】

火曜日 (第1火曜日はお休み) 10:00～ : 聖書の朗読と分かち合い

木曜日 (第1木曜日はお休み) 10:00～ : Bible reading and sharing



敬老のお祝い

9月13日、14日の各主日ミサ後、80歳以上の皆様の敬老のお祝いを致しました。ミサ終了後に対象の皆様に司祭からの病者の塗油と祈りが捧げられ、記念に主任司祭からのカードとお菓子、日曜学校の子供達が生懸命折った鳩の折り紙が記念品として贈呈されました。



2025聖年国際ミサ（カテドラル関口教会）

9月6日、カテドラル関口教会にて行われた2025聖年国際ミサに、ヒ神父様ベトナムコミュニティの皆さん、中高生会の学生たちが参加してまいりました。色んな国の言語でミサが行われ、ミサ終了後には聖堂内にてスタンプラリーが開催されました。肌の色も言語も違いますが、1つになれた瞬間を実感して帰って来ることが出来たようです。



フィリピンコミュニティ（FCC-OK）

少し前になりますが、フィリピンコミュニティの皆さんが、ザック神父様と日本語のミサのお勉強会を行いました。母語に関係なく、ミサの理解を深めることが出来たと、参加されたフィリピンコミュニティの皆さんは大変喜ばれていらっしゃいました。



避難訓練



8月30日、31日の各主日ミサにて避難訓練を実施致しました。普段のミサではわからなかった気付きもたくさんありましたので、今後の対策として活かしていきたいと思います。ご協力ありがとうございました。

神言会150周年ミサ＜初聖体・堅信＞



9月7日、アンドレア・レンボ司教様司式のもと、神言会150周年記念ミサが執り行われました。ミサの中では、日曜学校の5人の子供たちの初聖体と10名の堅信の秘蹟が行われ、たくさんの信徒の皆さんから祝福をしていただきました。



日曜学校より

日曜学校夏合宿に際し、一般の信徒の皆様にもご協力を賜り、アンケートを実施させていただきました。皆様からの温かいご意見、厳しいご意見を真摯に受け止め、今後の日曜学校の活動に活かしてまいりたいと思います。ご協力ありがとうございました。

お知らせ

ミサの時間

主日のミサ・Sunday Mass	
土曜日・SATURDAY	17:00
日曜日・SUNDAY	9:00
	10:30
	17:00
第一日曜日 (英語)	15:00
1st Sunday: (English)	
第二日曜日 (ベトナム語)	15:00
Chúa Nhật thứ hai (Tiếng Việt)	
第三日曜日 (タガログ語)	15:00
3rd Sunday (Tagalog)	
第五日曜日 国際ミサ	10:30
5th Sunday: International Mass	
週日のミサ・Weekday Mass	
月、火、水曜日・MON, TUE, WED	6:45
木曜日・THU	18:30
金、土曜日・FRI, SAT	10:30

【ロザリオの聖母ミサとお祝い】

10月12日14:00～

ベトナムコミュニティによるお祝いとミサ

【親睦バザー】 **10月19日11:30～14:00**

【聖堂掃除】 **10月26日**

【地区グループ集会】 **11月2日から** 順次開催

※詳細は後日お知らせ致します。

【七五三】 **11月16日10:30ミサ**

お申し込み用紙は、受付・聖堂入り口にご用意しております。締切は10月26日です。

【墓参】 **11月15日(土) 10:00～**

府中カトリック墓地

11月22日(土) 10:00～

五日市カトリック墓地

※現地集合解散となります。

お申し込み用紙は、受付・聖堂入り口にご用意しております。締切は10月26日です。

講座の時間割

NEW

フリッツ神父様の講座が増えました

曜日	時間	講座名	担当者	場所	備考
火	10:00 毎週・月の第1火休み	聖書の朗読と分かち合い	フリッツ神父	小ホール	対象: 信者、一般の方 内容: 新約聖書・日本語
	11:00 毎週・月の第1火休み	聖書入門	ボクダン神父	中ホール	対象: 信者 内容: 福音書
水	11:00 毎週・月の第1水休み	典礼暦	ヒ神父	中ホール	対象: 信者 内容: 年間の典礼暦を学び、味わう
	19:00 毎週・月の第1水休み	Introduction to the Old Testament	Fr. Zachary	中ホール	Intended audience: general public Content: The Old Testament
木	10:00 毎週・月の第1木休み	Bible reading and sharing	Fr. Frytz	小ホール	Intended audience: general public Content: The New Testament
	11:00 毎週・月の第1木休み	聖人伝	ヒ神父	中ホール	対象: 信者 内容: その週・月に祝う聖人について学び分かち合う
	19:00 毎週・月の第1木休み	キリスト教基礎	ボクダン神父	中ホール	対象: 一般の方、洗礼・堅信の準備をする方 内容: カトリック教会の基本的な教え
金	11:00 毎週・月の第1金休み	旧約聖書入門	ザック神父	中ホール	対象: 信者、一般の方 内容: 旧約聖書
土	11:00 毎週・月の第1土休み	キリスト教基礎	ボクダン神父	中ホール	対象: 一般の方、洗礼・堅信の準備をする方 内容: カトリック教会の基本的な教え
	15:30 毎週・月の第1土休み	聖書の分かち合い	ボスコ神父	大ホール	対象: 信者 内容: 次の主日の福音を分かち合う

【吉祥寺教会公式LINE】



週に1度、主任司祭より福音のメッセージと教会からのお知らせが配信されます。
是非ご登録ください。

＜カトリック吉祥寺教会＞

〒180-0005 東京都武蔵野市御殿山 1-7-8

TEL 0422-44-0181/FAX 0422-44-0180

URL <https://svdtokyo.jp/>

＜教会維持献金振替口座 郵便振替＞

口座番号 00120-1-106084 カトリック吉祥寺教会

＜教会事務室受付時間＞

火・水・木・金曜日 10:00～15:00

土曜日 10:00～17:00

日曜日 9:00～15:00

